

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.291 2019.11.18

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」
11月10日(日曜日)放送「特別委員会だより2」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様相など県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、11月10日(日曜日)に放送した「特別委員会だより2」の内容をお伝えします。

次回の放送は、令和2年1月1日(水曜日)午前10時からの「新春インタビュー」です。ぜひご覧ください。

こんにちは
県議会です
特別委員会だより②

[☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。≫](#)

INDEX



県議会広報


こんにちは県議会です
「特別委員会だより2」

- 経済・雇用対策特別委員会
中野英幸委員長
- 危機管理・大規模災害対策特別委員会
武内政文委員長
- 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会
須賀敬史委員長
- 決算特別委員会
小川真一郎委員長



議事堂の花

生け花のご紹介

 県議会広報

【こんにちは県議会です「特別委員会だより2」】

経済・雇用対策特別委員会 中野英幸委員長

〈経済・雇用対策特別委員会〉

経済・雇用対策特別委員会は、中小企業の振興、先端産業の推進、企業誘致および働き方改革の推進を含めた雇用に関する総合的対策について審査を行います。

—中小企業の振興についてお考えをお聞かせください。—



委員長 埼玉の経済を元気にする原動力は、県内企業の99%を占める中小企業です。少子高齢化や生産年齢人口の減少、AIやIoTの急速な進展など、大きく変化する社会に中小企業がしっかりと対応し、稼ぐ力を強化することができるよう、さまざまな施策を通じて支援していくことが重要と考えています。

—稼ぐ力の強化ですか。—

委員長 そのためには先端産業の推進も重要です。県内では、ロボットや航空・宇宙産業など五つの分野について、研究開発から事業化までを一貫して支援する「先端産業創造プロジェクト」を着実に進めています。この取り組みは、結果的に中小企業の技術革新や経営革新につながっていくものであると考えています。

—企業誘致についてはいかがですか。—

委員長 企業誘致は、産業の振興や雇用の創出など地域経済の活性化に非常に大きな効果をもたらします。本県は首都圏に位置しており、高速道路網や鉄道網が非常に発達した東日本の交通の要衝であるという強みを生かして、戦略的に企業誘致を進め、1,000件を超える成果を挙げてきました。引き続き、市町村と連携をして積極的な企業誘致を進めてまいります。

—雇用対策についてはいかがでしょうか。—

委員長 生産年齢人口の減少により企業の人手不足感が高まる中、持続的な経済成長を実現するためには、多様な働き方を選択できる環境づくりが求められています。働き方改革の推進、女性や高齢者の就業支援などを通じて、誰もが安心して働くことのできる職場づくりに積極的に取り組んでいくべきです。

—今後の活動について、お考えをお聞かせください。—

委員長 大きな時代の変化を新たな成長のチャンスと捉え、未来への投資となる施策を果敢に進めてまいります。引き続き、県経済の活性化と発展に向けて委員一同全力で取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

危機管理・大規模災害対策特別委員会 武内政文委員長

〈危機管理・大規模災害対策特別委員会〉

危機管理・大規模災害対策特別委員会は、大規模災害などが発生した際の応急対策、またその発生に備えた防災対策、災害支援に関する総合的対策について審査します。

—大規模災害への対策について、お考えをお聞かせください。—



委員長 まず、このたびの台風で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

近年は、このような大型台風や集中豪雨などが日本各地で大きな被害をもたらしています。県民の皆さまの命と暮らしを守るため、危機管理と防災体制のさらなる強化が必要だと考えています。

—最近は被害の規模が予想できないレベルになっていますね。—

委員長 10月に上陸した台風19号においては、気象庁が特別警報を発令し、数十年に一度と言われるような集中豪雨となりました。県内でも河川の氾濫などにより大きな被害が発生し、災害が激甚化しています。

—災害から命を守るためには災害情報の正確な把握が必要ですね。—

委員長 正確な情報を迅速に把握することは、災害時に最も重要なことです。誰でも気軽に情報の発信や共有ができるSNSは情報収集の有力なツールですが、一方で不正確な情報やデマが含まれている場合があります。慎重な取り扱いが必要です。県では、SNSによる被害情報の収集と迅速な災害対応に活用する新たな仕組みづくりを進めています。

—被害を減らすためには、ほかにどのようなことが必要でしょうか。—

委員長 災害による被害を減らすためには、地域防災力の向上も重要です。地域の消防団や自治会へ支援を行うほか、民間事業者と災害時応援協定を締結するなど、防災力を高めるため、地域と連携して取り組む必要があります。

—私たちも災害から命を守るため、主体的に行動しなくてははいけませんね。—

委員長 災害から自分の命を守るためには、県民の皆さま一人ひとりの日ごろからの備えが非常に重要です。家具の固定や災害用伝言サービスの体験利用、あるいは水や食料の備蓄、そして水害・土砂災害の被害想定区域の確認など、「自助」の取り組みをしっかりと根付かせていくことが大切だと考えています。

—今後の活動についてお考えをお聞かせください。—

委員長 災害はいつどこで起こるか分かりません。県民の皆さまの安心・安全な暮らしを守るため、私ども委員一同全力で取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会 須賀敬史委員長

〈人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会〉

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会は、人材育成、教育改革、文化およびスポーツの振興、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に関する総合的対策について審査を行います。

—人材育成について、お考えをお聞かせください。—

委員長 急速に進化する人工知能AIが人間に代わりさまざまな分野で活躍する時代が到来しつつあります。新しい時代に求められる人材とは、自ら主体的に問題を解決する思考力、判断力、そして表現力を持つ人材です。自分で考え判断し、自分の意見を主張できる「自立した力」を持つ人材の育成を目指すべきだと思っています。また情報化や国際化が進む中で、プログラミング教育や英語教育の推進もグローバル人材の育成に必要なものですので、重点的に取り組んでいきたいと思っています。



—ラグビーワールドカップが終わり、いよいよ来年は東京オリンピックですね。—

委員長 全世界が注目する東京オリンピック・パラリンピックが来年いよいよ開催されます。世界最大のスポーツの祭典が日本で開催されるという大変貴重な機会ですので、多くの県民の皆さん、そして特に子どもたちや若者の心に大きな夢や希望、そして生涯忘れられない感動を残すことができるよう、県民が一丸となって「オール埼玉」で大会を盛り上げていきたいと思っています。

—文化の振興についてはいかがですか。—

委員長 東京オリンピック・パラリンピックはスポーツの振興だけでなく、日本文化を世界に発信する絶好のチャンスだと思っています。また、伝統的な日本文化や埼玉県の魅力について、県民の皆さん一人ひとりにその素晴らしさをもう一度認識してもらおうチャンスだとも考えています。

—大会後の取り組みも大切ですね。—

委員長 ある意味では大会を成功させる以上に、大会後にその遺産をしっかり地域に根付かせることの方が難しく、それが最大の課題だと思っています。単なる一過性のイベントで終わらせたくはないんです。感動の体験を地域のスポーツ活動に根付かせて、それを発展させることで埼玉県全体のスポーツ振興につなげていきたいと思っています。

—今後の活動についてお聞かせください。—

委員長 本県の将来を担う人材育成という最も重要な課題と、スポーツと文化の振興という大きなテーマに、委員一同、全力で取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

決算特別委員会 小川真一郎委員長

〈決算特別委員会〉

決算特別委員会は、知事から決算関係の議案が議会に提出されると設置される委員会です。一般会計や特別会計など、県全体の決算について審査を行います。

—決算特別委員会は現在、審査中とのことですね。—

委員長 9月定例会に提出され継続審査となった、一般会計と特別会計、公営企業会計の決算の認定について審査をしています。



—審査はどのように進めているのでしょうか。—

委員長 知事から提出された決算書に基づき、書類では分からない部分や疑問点などは執行部に詳しい説明を求めています。18人の委員が集中的に審査を行い、議会として県の財政運営をしっかりとチェックしています。

—どういった観点から審査をされるのでしょうか。—

委員長 予算の執行に関する法令に従って、適切かつ効率的に行われたかどうか。また、施策や事業の目的はどの程度達成され、県民サービスや福祉の向上にどのように貢献したのか、などの視点から慎重に審査を行っています。

—平成30年度の一般会計の決算状況はどうだったのでしょうか。—

委員長 平成29年度と比較すると歳入総額、歳出総額共に減少しましたが、歳入は過去5番目、歳出は過去4番目に大きな規模となっています。

—歳入、歳出いずれも減少したのですね。—

委員長 歳入のうち、県税の納税率は98.2%で、8年連続で上昇しました。その一方で、さいたま市への税源移譲に伴い県税収入が減少したことなどにより、歳入総額が減少しました。

—歳出についてはいかがですか。—

委員長 歳出のうち、商工費や土木費などが増加しました。商工費は、農

業大学校跡地の売却により得た収入を基金に積み立てたことなどによる増加であり、土木費は治水対策を進めたことによる河川費の増加などが主な要因です。一方で、国民健康保険の財政安定化に向けた基金への積立金などの民生費が減少しました。

決算審査は、予算審査と比べて注目は薄いかもしれませんが、事業の成果などを検証する意味で非常に重要であると考えています。

—委員会での審査結果はどのようにまとめていかれるのですか。—

委員長 12月定例会で報告を行うことになっています。

委員の意見を踏まえ、改善や検討を要する事項を指摘した内容になるものと考えています。

[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。
【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間:

10月28日～11月1日

作者:

古流松藤会 島崎理敦様

花材:

カラタチ、アンセリウム、フウセント
ウワタ

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈古流松藤会 島崎理敦様〉

Q:この作品に込めた思いを教えてください。

A:赤く染まったアンセリウムに見えていただける「明るさ」をテーマの一つとしています。また、カラタチのとがった枝で力強さやエネルギーを表現

しました。この作品を見た方に元気になっていただきたいと思います、生けました。

Q:白と黒に塗ったカラタチを前面に用いていますが、このようにモダンな芸術を感じさせる生け花もあるのですね。

A:このように生の植物以外の素材も使い、作品の形の美しさを表現した生け花を「造形」と呼んでいます。造形の作品には作者の個性がとてもよく表れます。今回は、ここ議事堂のホールの雰囲気を変えるような目を引く作品を、と考えました。

[☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》](#)

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

© 2008 Saitama Prefecture All Rights Reserved. 無断転載を禁じます。

